

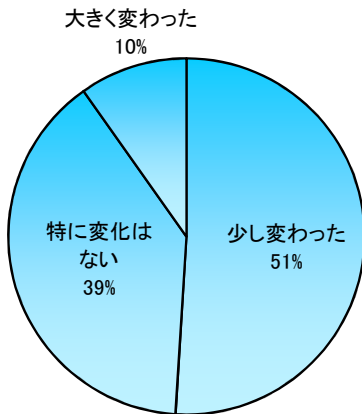
『災害について』

平成24年4月23日

98%の方がボランティア活動へ参加する

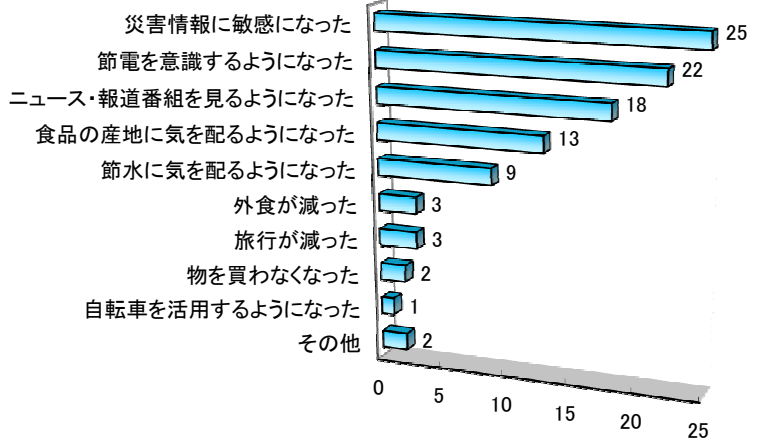
調査期間：4月12日(木)～17日(火)
 回答数：51名
 回答率：100.0%

Q1 東日本大震災から1年が経過しましたが、生活への変化はありましたか？(単一回答)



半数の51%(26名)の方が「少し変わった」と回答。「特に変化はない」と39%(20名)の方が答えている一方で、10%(5名)の方が「大きく変わった」と回答している。

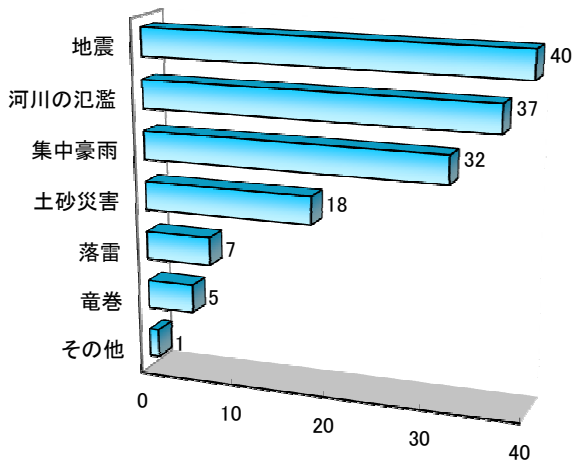
Q2 Q1で「変わった」と回答された方にお聞きします。震災以降生活にどのような変化がありましたか？(複数回答可)



有効回答者数 31名

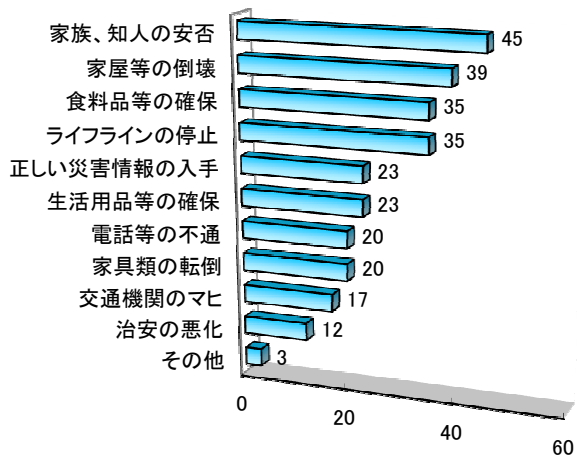
「災害情報に敏感になった」と25名の方が答え、最多回答であった。金銭面に直接変化が表れている方は少なかった。その他は「被災地の支援を考える」、「薬を持ち歩く」等で

Q3 居住地域で特に危険と感じる災害は何ですか？(複数回答可)



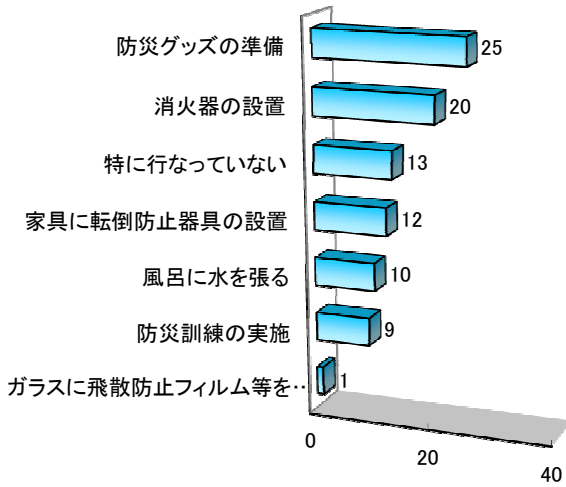
「地震」と40名の方が答え、最多回答であった。「河川の氾濫」、「集中豪雨」といった水害に対しても危機感を抱いているようである。

Q4 災害時にはどのようなことが心配ですか？(複数回答可)



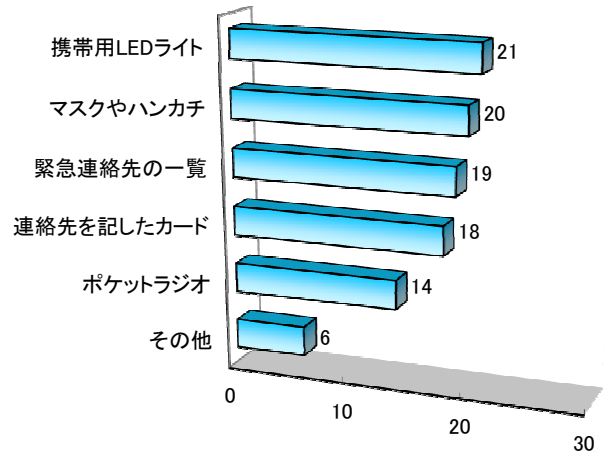
「家族、知人の安否」と45名の方が答え、最多回答であった。生活していく上で最低限必要な食料品の確保や、ライフラインの停止に関しての不安感が大きい。その他は「医療機関の受け入れ」、「政府の対応」等であった。

Q5 災害に備えて準備していることはありますか？
(複数回答可)



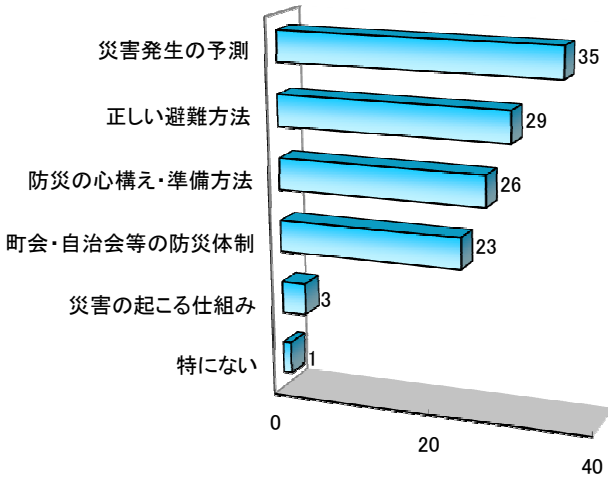
「防災グッズの準備」と25名の方が答え、最多回答であった。「特に行なっていない」と13名の方が回答している。

Q6 外出中の被災に備えて携帯すべきものは何ですか？(複数回答可)



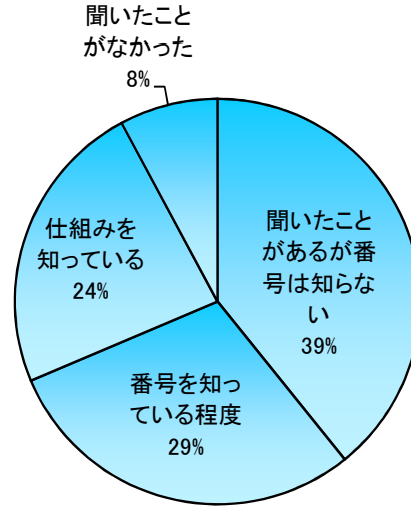
「携帯用LEDライト」と21名の方が答え、最多回答であった。マスクやハンカチは日頃から持ち歩いている方も多いと思う。その他の意見として「携帯電話」と答えられた方が目立った。

Q7 防災全般に関して、どのような知識や情報を得たいと思いますか？(複数回答可)



「災害発生の予測」と35名の方が答え、最多回答であった。事前に準備・対策できる項目が上位を占めた。

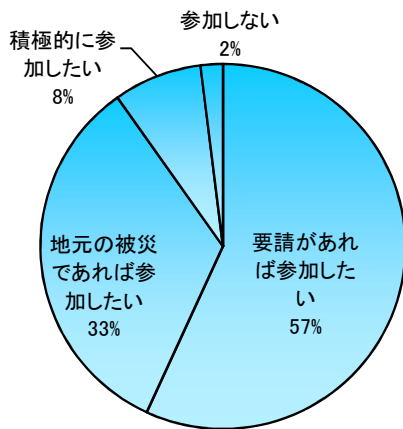
Q8 NTTの災害伝言ダイヤル「171」についてご存知でしたか？(単一回答)



災害伝言ダイヤルについて知っている方は多く見られるが、その中で番号をご存知の方は53%(27名)であった。「聞いたことがない」と答えられた方は8%(4名)であった。

Q9

ボランティア活動への参加は？(単一回答)



「積極的に参加したい」と答えた方は8%(4名)であった。呼びかけがあったり、親しんできた地元の被災なら参加したいと思っている方は90%(46名)に上った。

Q10 災害の被害を少なくするため、個人や地域でどのようなことに留意する必要がありますか？(自由記述)

10名の方が「日頃から地域でコミュニケーションをとる」と答え最多であった。

その他の意見として、「防災訓練」、「適切な防犯意識」、「危険箇所の把握」、「避難場所の確認」、「家族で避難場所を話し合う」、「役所の素早い情報提供」、「日頃の備え」、「部屋の整理整頓」、「家庭内でできる対策の検討」、「高齢者単身世帯の把握」等の意見があった。